

# 施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造		
	施策	1	低炭素社会	地域環境部	吉岡 恵子

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 市民の環境問題についての理解を深め、市民一人ひとりが省資源・省エネルギーに取り組むことにより、環境への負荷が少ない持続可能な社会の創造を目指します。

## 2. 令和4年度の実施内容及びその成果



- ・令和3年度に中間見直しを行った第三次なばり快適環境プランに基づき、SDGs、カーボンニュートラル、地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの取組を進め、市民や事業者への啓発を行いました。また、第三次名張快適環境プランの見直し内容に対応するために「名張市EMSマニュアル」「名張市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」「名張市エネルギー管理標準」の3種類のマニュアル・計画を改訂しました。
- ・クールビズやウォームビズなどの取組を全市的に周知を図るために広報や啓発を行い、温室効果ガスの排出削減に向けたライフスタイルやビジネススタイルの定着を進めました。
- ・市職員によるエコ通勤を実施し、またノー残業デーやライトダウンなどを実践することで、事務事業に係る二酸化炭素抑制を図りました。
- ・市役所駐車場に電気自動車の急速充電器を設置し、市民に活用いただくことで、エコカー普及に貢献しました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	91.0	0.0%
	成果	86.4	86.5	83.2	82.7	81.0	85.4	
環境マネジメントシステム導入事業所数(事業所)	目標	-	-	-	-	-	24	100.0%
	成果	17	17	17	17	17	25	
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量(t-CO <sub>2</sub> )	目標	-	-	-	-	-	11,773	100.0%
	成果	12,380	12,380	12,256	11,789	11,303	10,964	

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・第三次なばり快適環境プランに基づき、SDGs、カーボンニュートラル、地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの取組を進め、目指す環境像の実現に向けて市民や事業者への啓発を進める必要があります。また、市役所本庁舎及び関係施設の一部を対象に、事務・事業活動及びサービスが、環境に及ぼす影響を改善するため、環境への影響を管理する環境マネジメントシステムを適正かつ効果的に運用していく必要があります。
- ・エコ通勤デーについては、時短勤務など働き方が多様化している中で、市職員が無理なく参加できる手法を検討していく必要があります。

## 5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の実施内容(令和5年度以降)



- ・第三次なばり快適環境プランに基づき、市が省資源・省エネルギー行動を積極的に実施し、市民や事業者に対して啓発を行います。
- ・令和3年度の見直しにより第三次なばり快適環境プランに盛り込んだSDGsやカーボンニュートラルについても目標達成に向けた施策を推進していきます。また、名張市の事務・事業活動及びサービスが及ぼす環境への影響を改善するため、目的・目標を設定し、定期的な見直しを行うことにより、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。